



クライアント 操作マニュアル

C00-06 ボタン分析画面

株式会社 エヌジェーケー

- ・このソフトウェアの著作権は、株式会社エヌジェーケーにあります。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することは法律で禁止されております。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・このソフトウェアの仕様およびマニュアルに記載されている事項は、将来予告なしに変更することがあります。
- ・このマニュアルで使用している画像には、開発中のものも含まれます。実際の製品と異なる場合がございますことをご了承ください。

DataNature および DataNature Smart は、株式会社エヌジェーケーの登録商標です。
その他の商品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

CONTENTS

マニュアルの表記	C00-06_0
1.画面について	C00-06_1
1-1 ボタン表示領域について	C00-06_2
1-2 グループ表示領域について	C00-06_2
2.主な機能	C00-06_3
2-1 データボタンで情報検索	C00-06_3
◆データボタン選択による検索	C00-06_3
◆分析項目列の検索	C00-06_3
◆マーキング	C00-06_3
2-2 条件集約	C00-06_4
2-3 数値比例表示	C00-06_6
2-4 アラート	C00-06_7
2-5 ボタン増殖	C00-06_10

マニュアルの表記

◆ 呼称について

本マニュアルでは以下の呼称を使用しています。

DataNature Smart 管理ツール :DN 管理ツール
DataNature Smart クライアント :DN クライアント
DataNature Smart Personal :DN クライアント

◆ 画面に表示されるコマンド名などの文字

コマンド名やダイアログボックス名など、画面上の固有の文字は [] で囲んで表記します。なお、ユーザーによって異なるデータボタンは < > で囲んで表記します。

【例】

[編集]コマンド、[検索]ダイアログボックス
<大阪営業所>データボタン

◆ マニュアルで使用しているアイコン



“注意”を意味します。

知っておくべき重要な事柄や行なってはならない操作など、注意すべきことについて記載されています。



“ポイント”を意味します。

操作や内容のポイントとなる事柄について記載されています。



“参考”を意味します。

知っておくと便利な操作や内容などのノウハウについて記載されています。



“参照”を意味します。

操作や内容に関連するマニュアルの参照ページについて記載されています。

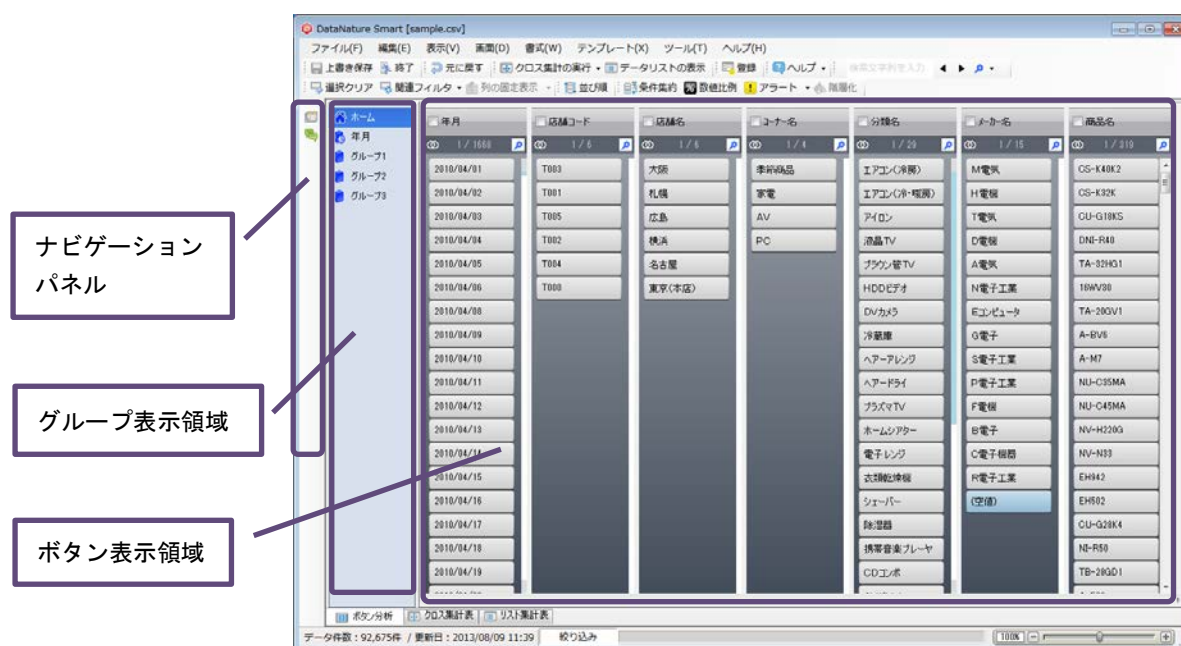
◆ マニュアルで使用している画像について

マニュアルで使用している画像には、開発中のものも含まれます。実際の製品と異なる場合がございますことをご了承ください。

◆ 機能について

導入された製品構成によって、利用できない機能や制限があります。

1. 画面について



ボタン分析画面は、次の要素で構成されます。

■ ナビゲーションパネル

画面操作をサポートする機能アイコンが並んでいます。ボタン分析画面では、「テンプレート一覧」と「コメント」を利用できます。

■ グループ表示領域

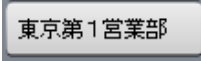
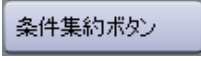
複数の分析項目列を一括したグループの情報が表示されます。[ホーム]や自動日付グループなど、自動で作成されるグループの他、利活用の目的に応じて、任意の分析項目列を自由に取り揃えたグループを準備することも可能です。

■ ボタン表示領域

分析項目列で構成され、各分析項目に所属するデータボタンが表示されます。ボタンをクリックしてデータを選択したり、検索を行ったりすることができます。

1-1 ボタン表示領域について

データ定義画面で分析項目に設定した項目列内のデータを、ボタン形式で自動的に表示します。データ選択や検索の他、アラート表示機能などを使った分析が行えます。
作成されるボタンの種類は 4 種類です。

ボタン形状	説明
	「データボタン」です。「増殖ボタン」もこの形状で表示されます。
	NULL 値が入っている場合に表示される「空値ボタン」です。分析項目列ごとに、表示/非表示が選択できます。また、ボタン名称については[ツール]-[DataNature Smart のオプション]から変更可能です(次回起動時に反映されます)。
	選択した複数のデータボタンを集約した「集約ボタン」です。
	任意の条件に一致するデータボタンを集約した「条件集約ボタン」です。

また、ボタンの選択モードによって、ボタンの選択状態(色)が変わります。

ボタン形状	説明
	標準の選択モードでは、青色表示に変わり、そのデータを選択している状態になります。
	排除モードでは、濃いグレーで表示され、そのデータを除くものが選択される状態になります。モードの指定は、  ボタンで切り替えることができ、分析項目列ごとに指定できます。

1-2 グループ表示領域について

◆ [ホーム]グループ

分析項目に設定された項目列は、全てここに表示されます。

◆ 自動で作成されるグループ

分析項目(日付型)列や分析項目(時間型)列を設定した場合、自動日付グループや自動時間グループが作成されます。自動日付グループは、[年度]や[四半期]などの自動日付列を、自動時間グループは、[時]や[午前/午後]などの自動時間列を作成します。

◆ グループの登録・編集・削除

[ホーム]グループ、自動日付グループ、自動時間グループの各分析項目列を自由に組み合わせて、新しく分析グループを追加することができます。

標準で、空のグループが 1~3 まで登録されていますが、新規にグループを追加登録したり、登録済みのグループを編集したりすることが可能です。(メニューバーの[編集]-[グループ]コマンドや、グループ領域の右クリックから操作します。)

なお、[ホーム]グループ、自動日付グループ、自動時間グループの編集・削除は行えません。



自動日付グループ名の上で右クリックし表示されるメニューの[自動日付グループの編集]から、「年度開始月や締め日を考慮する/しない」を選択できます。考慮する場合は[年度]や[四半期]、[月度]等の項目が利用できます。

2. 主な機能

2-1 データボタンで情報検索

ボタンの表示機能を利用して、情報検索が行えます。

◆ データボタン選択による検索

データボタンをクリックすると、データボタンの表示が選択したデータボタンに関連する情報だけに限定されます。これは、[関連フィルタ]機能によるものです。初期表示では[絞り込み]が設定されています。

[関連フィルタ]機能には、関連なし/関連あり/絞り込み/関連あり(同時)/関連あり(相反)の 5 種類のフィルタがあり、目的に応じて切り替えて使用します。(メニューバーの[表示]-[関連フィルタ]コマンドから操作します)

なお、現在のフィルタは、画面左下に表示されています。



[関連フィルタ]の働き

関連なし: ボタン表示に何も影響を与えません。単にデータボタンを選択するために用います。

関連あり: 1 つの分析項目列の中で選択されたデータボタンに関する情報を、他の分析項目列で表示します。

絞り込み: 複数の分析項目列にまたがって選択されたデータボタンに関連する情報を階層化し、次々と絞り込まれたデータボタンが表示されます。

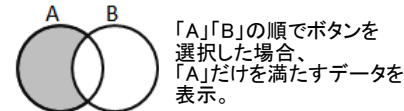
関連あり(同時): 特定の分析項目列内で複数のデータボタンを選択する場合に、他の分析項目列では、その選択された情報いずれにも関連するボタンを表示します。

関連あり(相反): 特定の分析項目列内で 2 つのデータボタンを選択する場合に、他の分析項目列では、最初に選択したボタンには関連しているが、次に選択したボタンには関連していない情報を表示します。

▼関連あり(同時)イメージ



▼関連あり(相反)イメージ



◆ 分析項目列の検索

データボタンの名称などを検索します。ツールバーの検索窓を使った検索の他、分析項目列内の検索では、文字列検索やアラート検索の結果に対してマーキングを行ったり、検索にヒットしたボタンを選択状態にしたりすることができます。

分析項目列内での検索は、各列内に表示されている検索アイコンをクリックして、[検索]ダイアログボックスから行います。

なお、ツールバーの検索窓で検索した場合は青色枠が、分析項目列内から検索した場合はオレンジ色枠が、それぞれ該当するボタンに表示されます。

▼ツールバーで検索されたボタン

部門A

▼分析項目列内で検索されたボタン

T3004

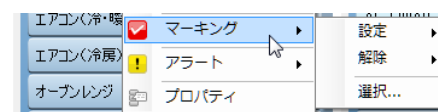
◆ マーキング

データボタンをマーキングします。分析項目列内の右クリックメニューから設定が行え、6 種類のマークから 1 つをデータボタンに表示できます。これにより、検索したボタンに目印を残すことが可能です。

データボタンの選択状態に応じて設定できるメニューが変わりますが、マーキングする対象を選択できます。(表参照)

なお、マーキングの解除やマーキングしたデータボタンを選択状態にすることが右クリックメニューから行えます。

▼右クリックメニュー: マーキング



▼チェックマークの付いたボタン

担当A

メニュー名称	説明
このボタン...	データボタンの上でメニューを実行した時に選択できます。メニューを実行したボタンにだけ、マーキングが行えます。
この列で選択したボタン...	メニューを実行した分析項目列内で選択中のボタンにマーキングが行えます。
この列で表示中のボタン...	メニューを実行した分析項目列内で表示中のボタンにマーキングが行えます。
このグループで選択したボタン...	メニューを実行したグループ内で選択中のボタンにマーキングが行えます。

2-2 条件集約

任意の条件に一致するデータボタンを一つに集約することができます。

1



[条件集約]アイコンをクリックします。
(メニューバー[ツール]-[分析]-[条件集約])

▼[分析項目列の詳細設定]ダイアログボックスの[条件集約]タブが表示されます。

No.	名称	書式	ボタン色	ボタンの並び順	条件集約	数値比例	空値表示	排他
1	年月	-	■	出現順↑	-	-	ON	-
2	店舗コード	-	■	出現順↑	-	-	ON	-
3	店舗名	-	■	出現順↑	-	-	ON	-
4	コーナー名	-	■	出現順↑	-	-	ON	-
5	分類名	-	■	出現順↑	-	-	ON	-
6	メーカー名	-	■	出現順↑	-	-	ON	-
7	商品名	-	■	出現順↑	-	-	ON	-

2

[対象の列:]欄から、条件集約させたい分析項目列を選択します。(初期表示は全項目選択されています)



[条件集約]アイコンをクリックする際、予め分析項目列を選択していた場合は、[対象の列:]欄に選択している分析項目列が選択状態で表示されます。

3

「☐条件にヒットするボタンを集約して表示」をチェックオンし、集約する条件を指定します。

▼設定が行えるようになります。

■条件集約ボタン名称

条件集約されたボタンに表示したい名称を入力します。

■条件集約の種類

条件集約の種類(ランキング結果による集約/数値条件による集約)をプルダウンリストから選択します。
また「☐このボタンを常に最下部に表示」をチェックオンすると、条件集約ボタンは各列の最下部に表示されます。

■集約のルール

集約のルール(数値データ項目/集計方法/集約条件)を指定します。



「ランキング結果による集約」では、集計値のランキング結果に基づき集約を行います。例えば、「売上金額ベスト 10 以外を集約する」という条件が設定できます。集計方法は「合計」「有効件数」「平均」から選択できます。

「数値条件による集約」では、集計値を比較して集約を行います。例えば、「売上数量が 10 以下を集約する」という条件が設定できます。集計方法は「合計」「有効件数」「平均」「構成比」から選択できます。



集約のルールでは、次の 3 点を指定します。

数値データ項目: どの数値データを利用して条件を設定するのか選択します。

集計方法: 選択した数値データをどのように集計するのか選択します。

集約条件: 集約する条件を指定します。

※「条件集約の種類」により、集計方法と集約条件の設定内容が変わります。

4

設定後、[一覧へ反映]ボタンをクリックします。

▼[分析項目列の設定状態: <グループ名>]の[条件集約]欄に「ON」と表示されます。

分析項目列の設定状態: ホーム

No.	名称	書式			ボタンの並び順	条件集約	数値比例	空値表示	排他
		文字列の制御	列の背景色	ボタン色					
1	年月	-	■	■	出現順↑	ON	-	ON	-
2	店舗コード	-	■	■	出現順↑	ON	-	ON	-
3	店舗名	-	■	■	出現順↑	ON	-	ON	-
4	コーナー名	-	■	■	出現順↑	ON	-	ON	-
5	分類名	-	■	■	出現順↑	ON	-	ON	-
6	メーカー名	-	■	■	出現順↑	ON	-	ON	-
7	商品名	-	■	■	出現順↑	ON	-	ON	-

5

表示を確認したら、[OK]ボタンをクリックします。



「ランキング結果による集約」を行う場合、メッセージが表示されます。[はい]をクリックすると、自動的にランキング結果(数値データ順)に合わせてボタンを並び替えて表示します。

分析項目列の詳細設定

ランキング結果による集約の設定をボタンの並び順にも反映しますか?

はい(Y) いいえ(N)

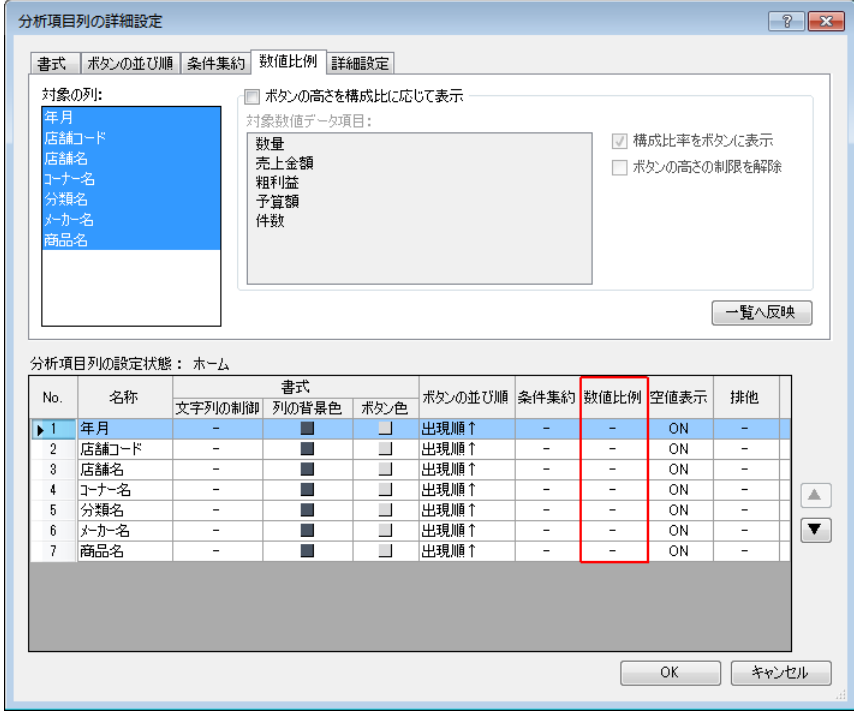
▼設定した条件に該当するデータボタンが、条件集約ボタンにまとめられます。

2-3 数値比例表示

ボタンの高さを、任意の数値項目の構成比で表示することができます。

- 1  [数値比例表示]アイコンをクリックします。
(メニューバー[ツール]-[分析]-[数値比例表示])

▼[分析項目列の詳細設定]ダイアログボックスの[数値比例]タブが表示されます。



分析項目列の詳細設定

書式 ボタンの並び順 条件集約 数値比例 詳細設定

対象の列:
年月
店舗コード
店舗名
コーナー名
分類名
メーカー名
商品名

☒ ボタンの高さを構成比に応じて表示
対象数値データ項目:
数量
売上金額
粗利益
予算額
件数
☒ 構成比率をボタンに表示
☐ ボタンの高さの制限を解除

一覧へ反映

分析項目列の設定状態: ホーム

No.	名称	書式			ボタンの並び順	条件集約	数値比例	空値表示	排他
		文字列の制御	列の背景色	ボタン色					
1	年月	-	■	□	出現順↑	-	-	ON	-
2	店舗コード	-	■	□	出現順↑	-	-	ON	-
3	店舗名	-	■	□	出現順↑	-	-	ON	-
4	コーナー名	-	■	□	出現順↑	-	-	ON	-
5	分類名	-	■	□	出現順↑	-	-	ON	-
6	メーカー名	-	■	□	出現順↑	-	-	ON	-
7	商品名	-	■	□	出現順↑	-	-	ON	-

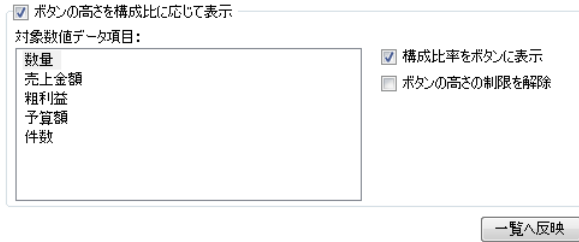
OK キャンセル

- 2 [対象の列:]欄から、比例表示させたい分析項目列を選択します。(初期表示は全項目選択されています)



[数値比例表示]アイコンをクリックする際、予め分析項目列を選択していた場合は、[対象の列:]欄に選択している分析項目列が選択状態で表示されます。

- 3 「☐ ボタンの高さを構成比に応じて表示」をチェックオンし、比例表示の設定を行います。
▼設定が行えるようになります。



☒ ボタンの高さを構成比に応じて表示
対象数値データ項目:
数量
売上金額
粗利益
予算額
件数
☒ 構成比率をボタンに表示
☐ ボタンの高さの制限を解除

一覧へ反映

■対象数値データ項目
ボタンの高さを比例表示させる数値データ項目を選択します。



「☐ 構成比率をボタンに表示」をチェックオンすると、データボタンの右下に、構成比率(%)が表示されます。マイナスの場合は赤字で表示されます。

「☐ ボタンの高さの制限を解除」をチェックオンすると、構成比率が小さいボタンは手動で設定できる最小幅よりも小さく表示されます。

4 設定後、[一覧へ反映]ボタンをクリックします。

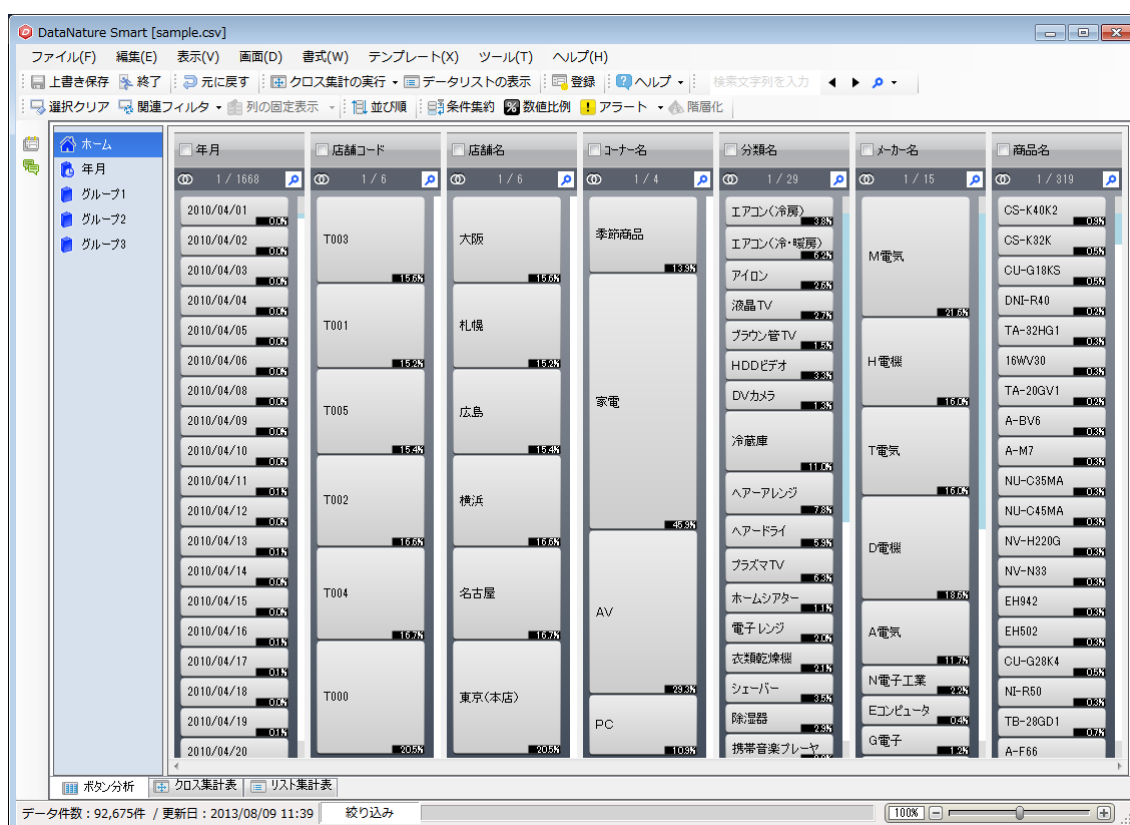
▼[分析項目列の設定状態: <グループ名>]の[数値比例]欄に「ON」と表示されます。

分析項目列の設定状態: ホーム

No.	名称	書式			ボタンの並び順	条件集約	数値比例	空値表示	排他
		文字列の制御	列の背景色	ボタン色					
1	年月	-	■	■	出現順↑	-	ON	ON	-
2	店舗コード	-	■	■	出現順↑	-	ON	ON	-
3	店舗名	-	■	■	出現順↑	-	ON	ON	-
4	コーナー名	-	■	■	出現順↑	-	ON	ON	-
5	分類名	-	■	■	出現順↑	-	ON	ON	-
6	メーカー名	-	■	■	出現順↑	-	ON	ON	-
7	商品名	-	■	■	出現順↑	-	ON	ON	-

5 [OK]ボタンをクリックします。

▼数値データ項目の情報が反映された画面が表示されます。



2-4 アラート

任意の条件に合致するデータボタンに色やマークを付けて表示することができます。条件は、過去数ヶ月での売上金額の変化や予算達成状況など、ひな形を利用した設定も行えます。

- 1  [アラート]アイコンをクリックします。
(メニューバー[ツール]-[分析]-[アラート]-[新規])

▼[アラートの設定]ダイアログボックスの[新規]タブが表示されます。

- ② [対象の列:] 欄から、アラート表示させたい分析項目列を選択します。(初期表示は全項目選択されています)



[アラート]アイコンをクリックする際、予め分析項目列を選択していた場合は、[対象の列:] 欄に選択している分析項目列が選択状態で表示されます。

- ③ [設定方法:] から[ひな形を利用する]または[任意に設定する]を選択します。

▼選択する内容によって、条件設定画面が変わります。

■[ひな形を利用する]場合

■[任意に設定する]場合

ひな形は、期間対比/ボタン対比/連続変化/件数条件/構成比条件/粗利率条件/達成率条件/日付条件の 8 種類から選択できます。

各ひな形に合わせて、数値データ項目や日付項目等を選択し、条件を設定します。

数値データ項目と日付項目に対して、任意に条件式を設定します。

- ④ 選択した設定方法に合わせて、アラート表示のための条件を指定します。
⑤ 続いて、[表示方法]を指定します。

▼ボタン色とマークを指定できます。

表示方法
 ボタン色: マーク: マークなし

6 設定後、[一覧へ反映]ボタンをクリックします。

▼[アラート一覧:]に設定した条件が表示されます。

アラート一覧: (右クリックメニューからアラートの流用を行うことができます。)

No.	状態	名称	設定方法	条件	表示方法	対象区分
1	ON	粗利率が20%以上	ひな形(粗利...	粗利率が20%以上		分析項目

7 [OK]ボタンをクリックします。

▼設定した条件にヒットしたボタンに、色やマークが表示されます。



一度設定したアラートを流用する場合は、[アラート一覧:]で対象となる条件で右クリックし、[このアラートを流用する]を実行してください。設定している内容が条件設定画面に表示されます。編集する場合は、[アラートの設定]ダイアログボックスの[編集]タブを表示し、対象となる条件を選択してから行います。

また、アラート名称は任意に設定することも可能です。[名称:]欄にある「☐自動で名称を付ける」をチェックオフして入力してください。



データボタンにマウスポインタを合わせると、アラート条件にヒットしているボタンの場合、どの条件にヒットしているのかをツールチップで確認することができます。

2-5 ボタン増殖

任意のデータボタンを一括する増殖ボタンを、新たな分析項目列のデータボタンとして設定できます。例えば、商品の情報をその種類毎に、「新商品群」「旧商品群」などのような増殖ボタンにまとめて、新たな分類の項目列を追加するといったことが可能です。

- ① [増殖ボタン列]アイコンをクリックします。
(メニューバー[編集]-[増殖ボタン列]-[新規])

▼[増殖ボタン列の新規作成]ダイアログボックスが表示されます。

- ② [増殖ボタン列名:]欄に、増殖ボタンを格納する列名称を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

▼画面の右側に列が追加されます。



分析項目列の右クリックメニュー[増殖ボタン列]-[新規]から列を追加した場合は、メニューを実行した分析項目列の右隣に増殖ボタン列が追加されます。

- ③ 続いて、まとめたいデータボタンのある分析項目列で右クリックし、[ボタン増殖]-[新規]を選択します。

▼[増殖ボタン設定]ダイアログボックスが表示されます。

- ④ [増殖ボタン名称:]テキストボックスに、増殖後のボタン名称を入力します。
- ⑤ [配置先:]ドロップダウンリストから、手順②で作成した増殖ボタン列(増殖ボタンの配置先)を選択します。



[新しい増殖ボタン列]を選択すると、増殖ボタンの設定と同時に増殖ボタン列を作成することができます。この時、増殖ボタン列はメニューを実行した分析項目列([参照元:]となっている列)の右隣に作成されます。

- ⑦ 続いて、増殖ボタンを構成するデータボタンを設定します。[構成候補となるボタン:]欄に表示されているボタン名称から、増殖対象のボタン名称を選択し、[追加>>]ボタンをクリックします。[Ctrl]キーや[Shift]キーを押しながら選択すると、複数のボタン名称を同時に選択できます。

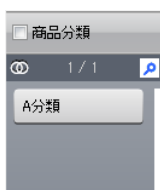
▼選択したボタン名称が[構成対象となるボタン:]に移動します。

構成候補となるボタン:			構成対象となるボタン:		
表示名称	データの有無	特殊ボタン数	表示名称	データの有無	特殊ボタン数
16WV30	有り	0	16WV30	有り	0
7PC1	有り	0	7PC1	有り	0
7PCJ1	有り	0	7PCJ1	有り	0
A-BS6	有り	0	AE-F100AP	有り	0
A-BV6	有り	0	AE-F80AP	有り	0
A-F66	有り	0	AF-F70BP	有り	0
A-M7	有り	0	AF-F90BP	有り	0
A-SB7	有り	0	AFD-F06G1	有り	0
AE-F100AP	有り	0	AFD-F18G1	有り	0
AE-F80AP	有り	0	AFD-F28G1	有り	0
AE-F70BP	有り	0	AMF-180	有り	0



[構成対象となるボタン:]欄から対象を外す場合は、ボタン名称を選択して[<<削除]ボタンをクリックします。削除されたボタン名称は、[構成候補となるボタン:]欄の最下部に表示されます。

- ⑧ 設定後、[OK]ボタンをクリックします。
▼設定した増殖ボタンが、指定した配置先に追加されます。



増殖ボタンの上で右クリックを行うと、[ボタン増殖]-[編集]から増殖ボタンの編集が行えます。ボタン名称や配置先、構成対象となるボタンの各項目を編集できます。また、不要になった増殖ボタンは、[ボタン増殖]-[…ボタン増殖を解除]から解除できます。

- ⑨ 手順③～⑧を繰り返し、増殖ボタンを設定します。